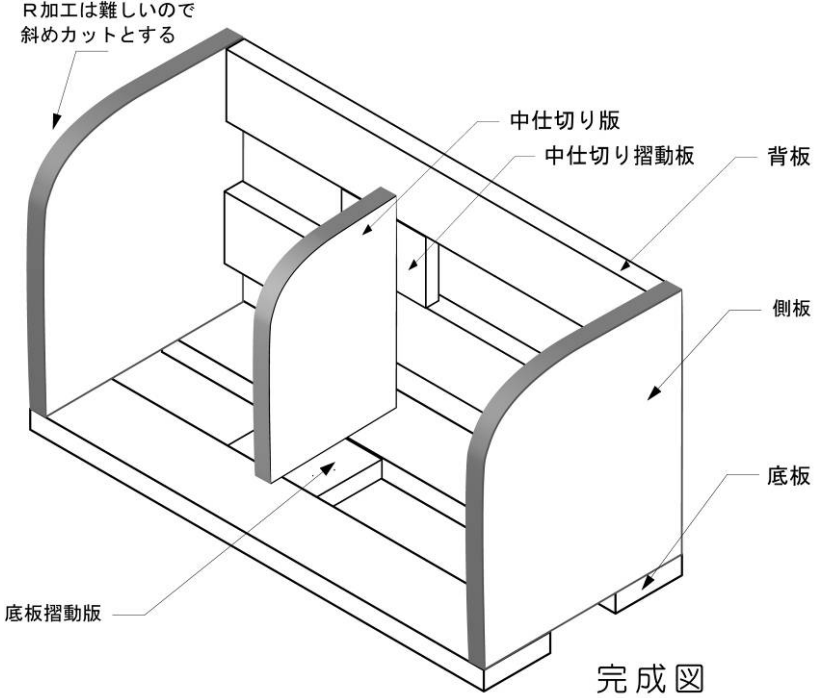


教材事例書式

教材教具名 SPF材で作る本立て	教科(作業)	
<p>教材教具イラスト</p>  <p>R加工は難しいので斜めカットとする</p> <p>中仕切り版 中仕切り摺動板 背板 側板 底板 底板摺動板</p> <p>完成図</p>		
<p>教材教具の概略(ねらいと使い方) 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等</p>		
1 ねらい	<p>木工の作業学習において、材料の吟味することで安価で作業性のよい本立てを設計し、作業の過程で鋸びき、ペーパーがけや玄翁(かなづち)の基本的な扱いに慣れることをねらいとした。</p>	
2 発達段階	<p>中学部～高等部</p>	
3 開発の過程	<p>近年、木材価格が高騰し、木材を安価に入手することが難しくなっている。キット物を求めると2,000円近い金額になってしまう。予算の少ない中で如何に安い材料で作品を完成させるかが毎年の課題となっている。そこで安価な材料が無いかとホームセンターへ出かけてみたところ幅広のSPF材が目に入った。価格を見ると600円程度と一般の針葉樹系(パイン系)集成材の価格の半値以下で売られていた。節や反り、割れなどの欠陥も多くあるが、検討したところ材料を吟味したり、木取りを工夫したりすることで問題を解決できることが分った。板厚も約20mmあり釘を打ちやすく木の質感を生かした作品作りができると思い図面を作成し試作に至った。本作品では幅広で使用する部材の点数を減らし無垢材の反りやすい点を考慮した設計となっている。長材を購入して半分に切断すればより安価に製作できる。(詳細設計図は別紙)</p>	
<p>児童生徒の反応や教材の評価 作ってみての感想・改良発展のアイデア等(次に利用する方のために)</p>		
<p>SPF材とは樹木の名前ではなく、主に北米産マツ科針葉樹のトウヒ属の(SPRUCE:スプルース)、マツ属の(PINE:パイン)、モミ属の(FIR:ファー)の3種類の木材の頭文字をつないでつけられた名前で、これら3種類が混在してツーバイフォー材として安価に販売されています。材の特徴は、割れや反り、節やヤニが多いなどの問題がありますが、軟らかくて加工性がよく丁寧にペーパーがけすると仕上がりも良好でステンシルやトルペイントを施しても木肌が明るいのでよく映えます。また、板厚も20mm程度あり、釘を打っても割れが起きにくいのも特徴です。</p>		